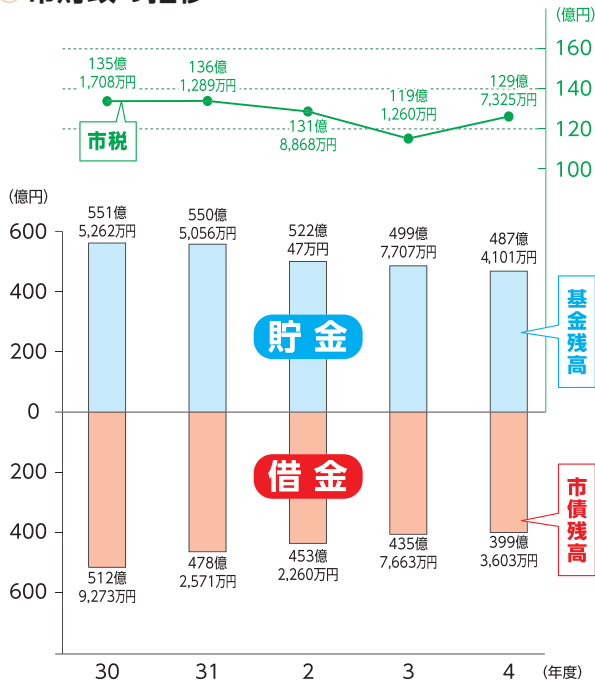


## 市財政の推移



※30～2年度は決算ベース、令和3年度は3月補正後の予算ベース、令和4年度は当初予算案ベース。(基金残高、市債残高は年度末数値)  
 ※基金残高には、各年度における出納整理期間に積立および取崩しを行った金額を含む。

## 用語の解説

- 歳入・歳出** 地方公共団体のその会計年度の一切の収入を歳入、支出を歳出と呼んでいます。
- 自主財源** 地方公共団体が自らの手で徴収、収納できる財源。地方税、使用料、寄附金などがあります。
- 依存財源** 収入にあたって国や都道府県の関与を受ける財源。地方交付税、国庫支出金、県支出金などがあります。
- 地方交付税** 市町村間の財政力の不均衡をなくし、一定の住民サービスができるよう市町村の財政力に応じて国から交付されるお金。普通交付税と特別交付税があります。
- 市債** 市がする借金。世代間の負担の公平性を保つために道路や建物など長期にわたって市民が恩恵を受けるものを整備するときに活用します。
- 公債費** 事業を行うための借金(市債)を返済する経費です。

市の会計には、税金や国・県からの交付金・補助金、市債などを財源として、全般的な行政の経費を扱う「一般会計」と、特定の事業を進めるため、使用料など特定の収入を充てて独立した経理を行う「特別会計」「企業会計」があります。これらの収入と支出を取りまとめた冊子が予算書と呼ばれるもので、市長が予算案を作成し、市議会がそれをチェック・審議して決定します。

## 特別会計・企業会計別の予算額

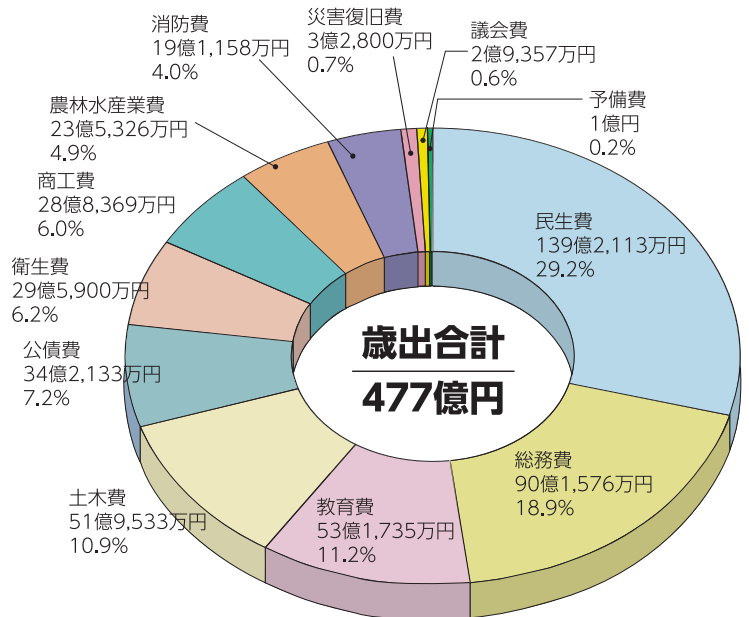
### 特別会計

区分	R4年度予算案	R3年度予算(当初)	伸率(%)
国民健康保険事業(事業勘定)	89億3,900万円	87億2,400万円	2.5
国民健康保険事業(直診勘定)	5億3,530万円	4億8,310万円	10.8
地方卸売市場事業	8,940万円	2,790万円	220.4
学校給食費	3億8,100万円	3億8,770万円	△1.7
介護保険事業	97億2,100万円	96億5,140万円	0.7
観光施設事業	1億6,710万円	2億9,420万円	△43.2
後期高齢者医療事業	14億3,400万円	13億1,900万円	8.7
合計	212億6,680万円	208億8,730万円	1.8

### 企業会計

区分	R4年度予算案	R3年度予算(当初)	伸率(%)
水道事業	32億8,940万円	34億7,900万円	△5.4
下水道事業	58億6,130万円	60億1,707万円	△2.6
合計	91億5,070万円	94億9,607万円	△3.6

## 歳出



るほか、高根多目的センター、上下水道施設や都市計画道路、ごみ処理施設などの市民生活に密接に関わる基盤整備を推進します。このほか、社会構造の変化に的確に対応したDX(デジタルトランスフォーメーション)推進や松本高山Big Bridge(ビッグブリッジ)構想にも積極的に取り組めます。

総合計画に位置付けた重点事業について、計画的かつ着実な推進を図るとともに、新型コロナウイルス感染症対策では、緊急・臨時的な感染防止対策や経済対策について、補正予算等により適時・適切に対応していきます。

